

### クリーンセンター建設の現状と課題

新風会 北本周作



質問↓クリーンセンター建設に反対の方への対応は。

答弁↓配置案は反対の方々の意見にも沿ったもので引き続き理解いただくよう対応に努める。事業を進めるためには地元町

内会や地域の方々の理解と協力が不可欠。今後も報告会、説明会を開き、意見、要望を十分に聞き、事業の周知、啓発に努める。

質問↓財政計画の中で公共料金の値上げは。

答弁↓歳入に見合った歳出が大原則であり、財源の効果的、重点的な配分も当然必要である。また、公共料金の見直しは、コスト計算や他事例との比較検討を行い、個別に判断する必要がある。○九年度当初予算の編成に向けて、全体的な見直しを検討したい。また、「最小の経費で最大の効果を上げる」行革への努力を怠ってはならない。

### 「消防団活動」と「環境保全型の街づくり」

みどりの会 竹内靖人



質問↓厳しい勤めの合間で頑張っている消防団の団員や家族が頑張れる環境整備に行政取り組みが必要では。また、消防団に対する市民の認識を把握する必要があるので。

答弁↓「消防団協力事業所表示制度」等の検討や、訪問や話し合いをして企業にに応じた対応、団員が活動のしやすい環境整備が必要と考えている。

質問↓津山市はバイオマスタウン構想の策定もなく、プロジェクトチームの立ち上げもないが、街づくり戦略、産業おこしに必要ではないのか。地域資源を利用し、「環境保全型」の街づくりを全国に発信しては。

答弁↓「バイオマスタウン構想」は新しい「産業おこし」の可能性を持っている。関係部局と調整を図り、プロジェクトチームの体制を整えたい。

### 目標、危機感、熱意

日本共産党津山市議団 久永良一



質問↓可燃ごみ減量は、税金節約、二酸化炭素排出削減、ごみ資源化に重大な意味がある、少なくとも三十%以上減量の目標と熱意が要る。

答弁↓津山はごみを減らしている方だ。

さらに努力する。

質問↓地元木材利用の住宅建築の推進は、林業、地域経済の活性化、森林の公益的機能、地球温暖化対策に大きな意味がある。

答弁↓総合計画の中期計画の中で前向きに検討する。

質問↓健康づくりで、市民の健康度向上と税金の節約、国民健康保険料の軽減を行うことを提起する。健康診断の受診率を二十四年度に六十五%にしようとしているが、本当にできるのか。健康づくりの要の保健師が少ない。副市長を増やすより、保健師の増員を。

### 地域企業に活力を！ 農山村を元気に！

公明党津山市議団 原 行則



質問↓先の国会で中小企業経営円滑化法が成立し、事業承継税等の優遇策が実現し、後継者の事業継続の支援強化が図られたが、市としての地元企業のサポート体制はどうなっているか。

答弁↓地域産業活性化策として津山商工会議所経営支援センター、作州津山商工会と連携を密にし、人づくり基金二億円の取り崩しも行いながら後継者育成、企業経営革新を支援する。

質問↓過疎の農山村活性化策として都市部の団塊世代退職者等の移住施策は。

答弁↓住んでみたいと思わせるような情報を発信していく。

質問↓子供達に農山村体験施策を行えば人間教育に効果が大いなのは。

答弁↓国の補助事業でもあり、今後農林部とともに研究する。（教育長の答弁）